

令和3年3月11日
四国地方整備局

海上タクシーの予約効率化に向けた実証実験を行います ～海上MaaSの提供によるスムーズな瀬戸内舟旅の実現～

四国地方整備局では、参画する瀬戸内洋上都市ビジョン協議会において、海上交通におけるMobility as a Service(海上MaaS)を活用し、旅行者に海上タクシーを使ったスムーズな離島間移動を提案するなど、持続的な瀬戸内観光振興に向けた各種検討を行っています。

現在、フェリー・海上タクシーの予約・決済等については、旅行者がMaaSアプリを使って行うことができるようになってきています(B to Cの電子化)。一方で、海上タクシー等が利用する係留施設の利用手続きは、紙やFAX等のアナログで行われていることが多いため、情報の一元化に向けて、係留施設の利用手続きの電子化(B to Gの電子化)の実証実験を行います。

これにより、将来的に利用者から港湾管理者までシームレスな電子手続きが実現し、効率的な予約・決済等が可能となるとともに、様々な付加価値をつけていくことが期待されます。

- (1) 開催日時 : 令和3年3月13日(土) 15:00～15:30 (受付14:30～)
- (2) 場 所 : 高松港県営第2浮棧橋周辺
- (3) 主 催 : 瀬戸内洋上都市ビジョン協議会※
(主な構成員 : scheme verge(株) / (株)電通 / 四国地方整備局)
(協力 : (一社)水都創造パートナーズ / 海上タクシー事業者 / 各港湾管理者)
- (4) 内 容 : ①実証実験の概要説明
②デモンストレーション
(海上MaaSアプリを利用した海上タクシーのオンデマンド予約を実演)
(一般の方は参加できません)
- (5) 実験概要 : 別紙-1参照
(四国地方整備局としては実証実験における港湾管理業務の効果検証を担当)
- (6) その他 :
 - ①取材を希望される方は、3月12日(金)17時迄に別紙-2のとおり、申し込みをお願いします。
 - ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日はマスクの着用をお願いいたします。
また、ご来場いただく前に検温していただき37.5度以上の発熱、風邪症状(咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ(倦怠感)等)、体調不良の場合は参加をご遠慮願います。

※瀬戸内洋上都市ビジョン協議会(事務局:scheme verge(株))は、海・陸・空の交通事業者ならびに観光事業者を主体として2019年7月に設立。協議会では、旅程提案型MaaSアプリ「horai」などを用いて得られたデータの分析・解析とDX推進により、サービスの最適化・向上及び効率的な事業運営に繋がるデータ駆動型のエリアマネジメントを行い、持続的な瀬戸内観光振興に向けた各種検討を実施。

<問い合わせ先>

四国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 課長 篠原 真三
" 課長補佐 廣田 篤

電話:087-811-8330(直通)

海上旅客輸送に係る課題

- 瀬戸内国際芸術祭のような移動需要が高まる時期において、フェリー・定期船に加えて海上タクシーも活用されている。
- 会場となる離島間の移動といった多様なニーズに対応するためにも、様々な海上輸送手段が手軽に使えることが重要。
- 一方、海上タクシー事業者・港湾管理者の間の手続きは対面や電話・FAXであり、情報が一元化されていない状況。

過去

Step.0

旅行者が対面や電話で海上タクシー等を予約・決済



栈橋の空き状況がわからない



海上タクシー事業者

各事業者が書面で係留施設を予約



瀬戸内国際芸術祭にて栈橋でフェリー・旅客船を待つ人々
出典：香川県HP

海上旅客輸送に係る現在の取り組み

- 瀬戸内海において、旅行者がMaaSアプリ「horai」を使って、フェリー・海上タクシーの予約・決済等を行うことができるようになっている。(B to Cの電子化)
- 一方、海上タクシー等が利用する係留施設の利用手続きは、紙やFAX等のアナログで行われている。
- このため、実証実験として既存のシステムにより、係留施設の利用手続きの電子化を行う。(B to Gの電子化)

現在 Step.1-1 : B to C の電子化 Step.1-2 : B to G の電子化

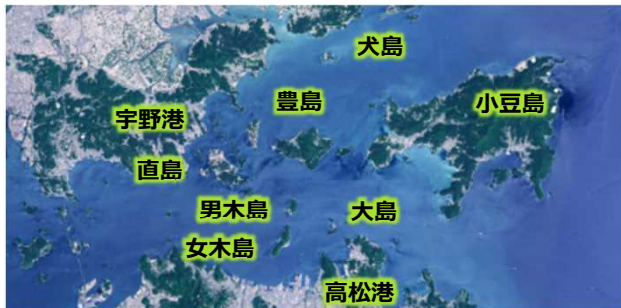
旅行者が、MaaSアプリを使って
海上タクシー等を予約・決済

各事業者が、システムを使って
係留施設を予約



MaaSアプリ「horai」(H31年から実装)

移動手段の検討等の手間を無くし、効率的な旅程を実現する他、海上タクシーの手配・決済が可能な個人旅行者向け観光アプリ(scheme verge(株)開発)。



「horai」で利用できる海上タクシーが対応する島 出典：国土地理院

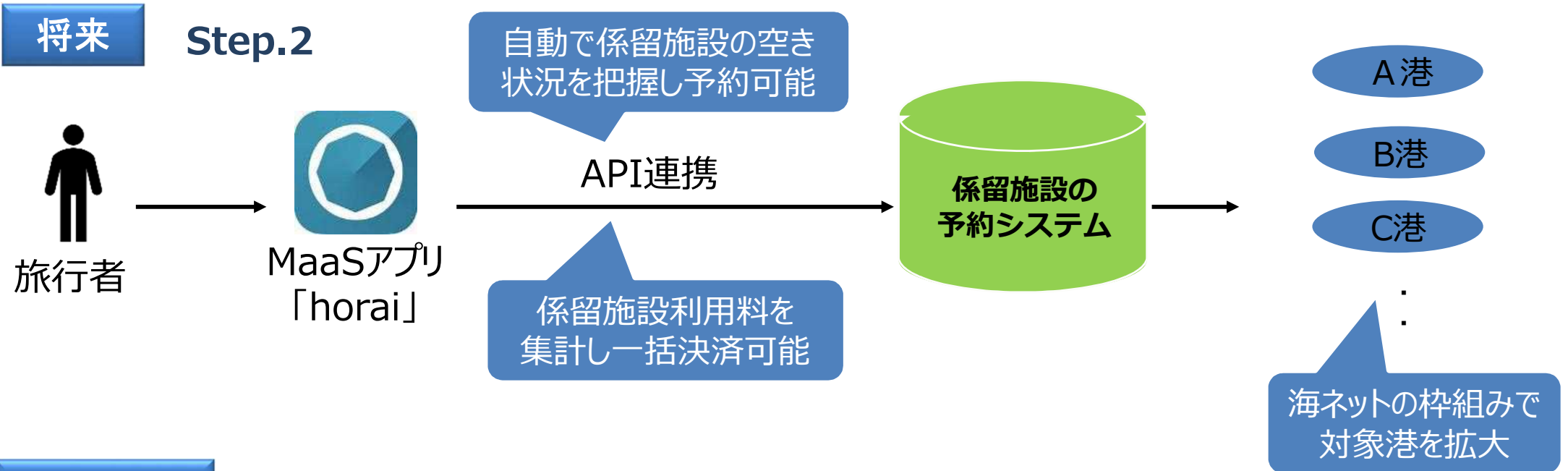
今回の実証実験

【検証内容】

- ① 港湾管理者が使いやすいシステム要件
(バースウィンドウ形式の予約画面の使いやすさ等)
- ② 係留施設の予約システムとMaaSアプリとの連携方策
(海上タクシー事業者が行っている作業をどのように自動化するか等)
- ③ その他システムの導入にあたっての留意点
(港湾管理者がどのように利用承認を行うか等)

海上旅客輸送の将来像

- MaaSアプリと係留施設の予約システムとの連携により、利用者から港湾管理者までシームレスに電子手続きが可能となる。
- さらに、瀬戸内・海の路ネットワークの枠組みにより、対象港を拡大するとともに、港湾にとどまらない様々な付加価値をつけていくことが期待される。



さらに将来 Step.3

- 宿泊施設や交通手段（鉄道・バス・レンタサイクル等）の予約など、様々なサービスとの連動
- 収集したデータに基づく瀬戸内の人流・滞在パターン分析
- 係留施設の需要変動に対応した変動料金の設定
- 他地域に応用可能なサービスプラットフォームの開発・整備

海上タクシーの予約効率化に向けた実証実験 取材申込について

取材をご希望される場合は、以下宛先へ、貴社名、連絡先、代表者名、連絡事項（必要に応じ）を記載の上、3月12日（金）17時までにメール連絡をお願いします。

【宛先】

scheme verge 株式会社 小林

アドレス：alliance@schemeverge.com

電話：090-3040-9678

海上タクシーの予約効率化に向けた実証実験

開催場所：高松港県営第2浮棧橋周辺



【各交通機関からのアクセス】

高松中央 I C から、車で 20 分

高松西 I C から、車で 20 分

J R 高松駅 から、徒歩 6 分

琴電高松築港駅 から、徒歩 4 分

※ 駐車場はございませんので、お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。